令和 7年 2月「月 報」

1 はじめに

1月15日、ホテル・グランドヒル市ヶ谷において、 自衛隊家族会、隊友会、日本郷友連盟の三団体共催の 賀詞交歓会を開催しました。

防衛問題に深いご理解を示される国会議員の皆様、 防衛省高官、友好団体、三団体の活動に共鳴してくだ さる特別(賛助)会員、在日駐在武官等が出席する中、



石破茂内閣総理大臣をお迎えし、お言葉をいただきました。(細部は「家族会の活動」で・・) さて、今年で1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から30年を数えました。 会員の皆様は、様々な立場で当時のことを思い起こされることと存じます。

自衛隊に関して言えば、災害派遣に関して定めた自衛隊法83条2項に「ただし、 天災地変その他の災害に際し、その事態に照らし特に緊急を要し、前項(注:第1項で 災害派遣の要請に関して規定。)の要請を待ついとまがないと認められるときは、同項の 要請を待たないで、部隊等を派遣することが出来る。」との文言が加えられ、所謂「自主 派遣」を行うようになったのは、この災害の教訓であったと認識しています。

爾来、防衛省自衛隊は全国各地の駐屯地・基地等に、初動対処部隊(Fast-Force: ファスト・フォース)を待機させ、日夜、災害発生時において迅速に国民の生命と財産を守るための態勢をとっています。

また、その活動は捜索・救助、水防、医療、防疫、給水、人員や物資の輸送、航空機や 船舶の事故等の救援、緊急患者の輸送等、例年 400 件近くを数えています。

限られた人員の中、わが国の防衛をはじめとする広範多岐にわたる任務を遂行する隊員の 皆様に、頭が下がる思いです。

そのような環境に飛び込む若い力の入校・入隊激励会が各地で開かれる時期となりました。 是非、崇高な任務に就く決意をした予定者への激励をよろしくお願いします。

また、1月に各地方協力本部長等に宛てて家族会の会員拡大にかかわるお願いの文書を 差し上げておりますので、各県におかれましては、よろしく調整の上、会員拡大に向けた 働きかけもお願いいたします。

「Defense World 25」逐次お届け中です。 ご活用ください!!

2 防衛省・自衛隊の活動(省等Webより)

(1)1月12日、中谷防衛大臣は、陸上自衛隊習志野 演習場において、第1空挺団による令和7年度 降下訓練始めを視察し、隊員を激励しました。 本行事には、11の同盟国・同志国等が参加し、

連携を強化しました。 「跳び出し塔」から跳ぶ大臣→

自衛隊、

頑張ろ**う!**

(2)1月15日、中谷防衛大臣はロンドンにおいて、ヒーリー英国防大臣と会談しました。 冒頭、中谷大臣から、ヒーリー大臣との間で初となる日英防衛相会談が開催できた ことを喜ばしく思う旨述べ、アジア及び欧州における最も緊密な安全保障上のパート ナーとして、日英間での連携を一層深めていくことで一致しました。

両大臣は、地域情勢について意見交換を行ったほか、昨年12月にグローバル戦闘航空 プログラム(GCAP)政府間機関(GIGO)を設立する条約が発効したことを歓迎す るとともに、GCAPを はじめとする日英防衛装備・技術協力の進展についても意見交換 を行い、今後一層協力を深化していくことで一致しました。

(3) 吉田統合幕僚長は、1月15日から16日までの間、 ベルギーのブリュッセルにおいて、NATO参謀総長等 会議に出席しました。会議において、吉田統幕長はイン ド太平洋をテーマとしたセッションに参加し、「インド 太平洋におけるパートナーシップ」をテーマにスピーチ を行い、併せて、ギリシャ、オーストラリア、ベルギー、 リトアニア、ルーマニアの5か国との間で二国間会談を、 NATO軍事委員長及び欧州連合軍最高司令官(SAC EUR)との間で二者会談を行いました。



統幕長 **SACEUR**

(4) 各地トピック

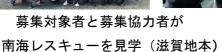






もんべつ流氷まつりメイン氷像作成(第25普通科連隊) -中部方面混成団第47普通科連隊訓練始め









試験合格者、受験希望者及び保護者が 海自横須賀基地を見学(埼玉地本)

3 家族会の活動

(1) 令和7年三団体共催賀詞交歓会を担当

自衛隊家族会、隊友会、日本郷友連盟の三つの団体が交代で主担当を務めている 「三団体共催賀詞交歓会」。今年は自衛隊家族会が担当しました。

国旗に敬礼、国歌斉唱、黙とうの後、三団体を代表して自衛隊家族会増田会長が開 会のあいさつを述べ、石破総理大臣のご挨拶をいただきました。

石破総理はご挨拶の中で、在隊時から退職後までを通した自衛官の処遇改善に言及され、更に、「防衛省を中心に、あるいは内閣官房を中心に」「年末年始返上で作成した」自衛官の処遇に関するパンフレットを自ら説明され、予定した時間を大きく超えて、拍手の中退場されました。



引き続き、小林一大防衛大臣政務官、長島昭久内閣総理大臣 補佐官・元防衛副大臣にご挨拶いただき、国会議員をはじめと する来賓紹介の後、森下陸上幕僚長の乾杯で開宴しました。

出席者互いに挨拶を交わすうちに時が進み、今年で歴史に幕を 小林 大臣政務官 閉じる日本郷友連盟の森会長の万歳三唱でお開きとなりました。 お忙しい中ご出席くださった皆様、有難うございました。

(2) 部隊見学

1月9日、兵庫県自衛隊家族会高木会長、後藤常任理事、佐坂監事が、陸自今津駐屯地で開催された「第3戦闘偵察大隊・隊員家族の日(射撃見学ツァー)に招待され、参加しました。この企画は「現場で日々頑張っている隊員」と「いつも全力で応援している隊員家族」を結びつけ、日頃の活動を実際に見る非常に重要な行事として、大隊長阪井2陸佐の肝入りで実施されたもので、一般見学者とは一線を画し、保全に留意した上で見せられるところを最大限公開していただき、約30名の参加者皆満足され

たものと思います。



教場での部隊紹介

実弾射撃時の 阪井大隊長

装備品展示 16 式機動戦闘車、87 式偵察警戒車、 96 式装輪装甲車、偵察用オートバイ



高木会長のご子息 高木会長

(3) 1月21日、青森市自衛隊家族会が今年で56回目となる八甲田演習(第5普通科連

隊)を現地において激励しました。演習当日は 気温が高いことと、昨年末からの記録的な大雪 により経路上に雪崩の危険個所が諸処存在する ことから、当初の行進経路を変更し、約500名 が、往復約8kmの経路をスキーで踏破しました。





往路はほとんどが登り

坂で、 $80\sim100$ k g のアキオ(装備品を積載したソリ)を、 1本の引綱で $4\sim5$ 名が掛け声により力を合わせ、軽快に 前進していました。

積雪寒冷地部隊の隊員としていかなる厳しい環境条件においても行動できるよう、 遺訓を学びつつ今後も訓練は続きます。

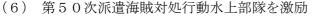
(4) 第23次派遣海賊対処行動支援隊を激励

1月23日、第10師団第14普通科連隊(金沢 駐屯地) 基幹の約80名の隊員が小松空港から出国 し、半年間の任務に就きました。

中 石川県家族会長他、金沢市の会員が中心となって出発式で隊員を激励しました。



1月14日、UNMISS 司令部要員として南スーダンに派遣される、兵站幕僚の喜田一麿3等陸佐(写真左から2人目)と航空運用幕僚の新山英亮3等陸佐(写真右から2人目)に対し、現地での活躍をお祈りし、激励しました。







2月2日、海自第2護衛隊の護衛艦「あさひ」(艦長高城2海佐)の200名(海保8名を含む。)が佐世保港を 出港し、海賊対処行動の任に就きました。

前川長崎県会長が見送り、無事の任務遂行をお祈りしました。

(7) 令和7年北方領土返還要求全国大会

2月7日、ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)で開催されました。

当日は、増田会長、各運営委員、首都圏の各家 族会員が出席し、石破総理大臣のビデオメッセージ 外務大臣代理の宮地副大臣の挨拶後、「署名活動の





現場から」として本会の小和瀬運営委員が皆様のご苦労に支えられる

署名活動の現況を伝えるとともに、今後も共に頑張るとの力強い発言がありました。 (注:石破総理大臣、岩屋外務大臣は訪米のため欠席されました。)

4 事務局からの連絡・お願い

令和7年度「収支予算書」について

令和7年度収支予算書の報告期限は、2月21日(金)です。

事務局で取りまとめ、3月の理事会での審議、内閣府へ提出する資料の原資料ですので、期限厳守でお願いします。

以上